(1) 区役所や地域施設を核とした家庭・地域・市立図書館の連携協力

#### <施策の方向>

すべての子どもが本を楽しむ環境を作り出すためには、関連する機関や人々が連携し、 共通の認識をもって取り組む必要があります。子どもの発達、絵本や子どもの本について の知識等、それぞれの専門分野における蓄積を生かした情報交換や連携・協力が重要で す。

本市では地域集会所等身近な場所で、親子で自由に遊んだり、親同士で情報交換をしたりできる子育てサークル・子育てサロンが活動しています。区役所や地域施設を中心とした関連施設が連携・協力し、これらの活動を支援する子育て支援のネットワークづくりを推進しています。市立図書館からは子育て支援施設や子育てサークル等への資料・情報提供などの支援を行っています。引き続き連携協力を続けていきます。

また、区役所や地域施設が核となって、地域の状況に合わせた子どもの読書活動に関する取組を実施する例も増えています。令和2年7月に「こども本の森 中之島」が開館し、新たな子どもと本の出会いの場ができました。今後も子どもの本に関係する機関や人々が相互に情報を交換し、絵本や子どもの本への知識を深め、その楽しさにふれる機会を拡充できるよう、取り組んでいきます。

一方、長期の入院等の理由により図書にふれる機会の少ない子どもたちにも、「読書の楽しさ」を伝えていく必要があります。施設や市立図書館、読書活動支援ボランティア等、かかわる人々が情報交換・交流し、子どもたちの読書環境の向上につなげるよう努めることが必要です。

地域の実情に合わせ、生涯学習事業や、地域の団体・企業などとも連携・協力を進め、 地域全体として、子どもや子どもの周りの大人が一緒に読書に親しめる環境を醸成してい きます。

#### <具体的取組>

取組	取組内容	関係主体
子育て支援施設での ブックスタート事業 の実施	・実施施設と市立図書館の連携・協力	区役所・こど も青少年局・ 市立図書館
区役所・子育て支援 施設・市立図書館の 連携・協力	・子どもの読書や施設の読書活動に関する情報提供 ・子育て支援事業等、区における子どもの読書活動の 取組での連携・協力	区役所・こど も青少年局・ 市立図書館

	<ul><li>・市立図書館と連携・協力した読書普及・啓発活動の実施</li><li>・区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置</li></ul>	
生涯学習関係事業での連携・協力	・生涯学習施設での読書活動支援の催し等の実施 ・市立図書館と連携・協力した生涯学習事業の実施	生涯学習部・ 市立図書館
地域の企業や団体・ 機関との連携	・市立図書館と地域の企業や大学・団体・機関等との 連携による子どもの読書活動の実施	市立図書館
「こども本の森中之 島」での読書活動推 進	・「こども本の森中之島」での絵本など図書の設置・ 読み聞かせ等の催しの実施など読書環境の整備	経済戦略局

# (2) 学校を核とした家庭・地域・市立図書館の連携・協力

#### <施策の方向>

中学校区の学校元気アップ地域本部事業<sup>31</sup>、小学校区のはぐくみネット事業<sup>32</sup>など、地域社会の中で子どもを育てる教育コミュニティの活性化の取組が進められています。地域の実情に応じて学校図書館ボランティアの活動支援、地域の読書活動推進ボランティアによる学校での読み聞かせ、市立図書館での児童・生徒による大人や幼児への読み聞かせ、児童いきいき放課後事業<sup>33</sup>での学校図書館活用など、学校を核として家庭・地域・市立図書館が連携し、読書を通じて子どもと子ども、子どもと大人がともに学び交流できる機会を増やし、次代を拓く子どもたちの成長を支援します。

#### <具体的取組>

取組	取組内容	関係主体
小学校区のはぐくみネット事業、中学校区の元気アップ地域本部事業等における読書活動の連携・協力	・ボランティアに対する支援	学校・区役所・生 涯学習部・指導 部・市立図書館

<sup>31</sup> 学校元気アップ地域本部事業:市立中学校区に学校と地域をつなぐ調整役として、地域コーディネーターを配置し、生徒の 生活習慣の確立や学力向上など学校課題の解消に向け、学校のニーズに応じた取組を行う事業。

<sup>32</sup> はぐくみネット事業:小学校区教育協議会。各小学校区に設置され地域の諸団体や小学校、PTA 代表などで構成。学校や地域の子育で・教育活動に関する情報の共有や意見交換を行い互いに協力しながら活動を行う。

<sup>33</sup> 児童いきいき放課後事業:市内全市立小学校区において、学校と地域との協力のもとに、小学校施設を利用して児童の安全安心な放課後の居場所を提供し、様々な体験や活動プログラムを実施し児童の健全育成を支援する事業。

児童いきいき放課後事業に おける連携・協力	・児童いきいき放課後事業における読書活動 への支援での連携・協力	学校・こども青少年局・教育委員会 事務局・区役所・ 市立図書館
学校図書館を活用した読書 活動支援	・図書ボランティア講座の実施 ・ボランティアによるおはなし会の開催や情 報共有など連携の強化	学校・指導部・市 立図書館

#### (3) 地域・市民を軸とした読書活動の輪の形成

#### <施策の方向>

子どもたちが読書好きになるには、読み聞かせをしてもらったり、おすすめの本を紹介してもらったりするなどの働きかけを繰り返し受けることが大切です。子どもたちが乳幼児期から継続して読書の楽しさにふれることができるよう、子どもの読書活動にかかわる人々が連携・協力し、取組を広げる必要があります。

まちライブラリーなど、本を通じて人と人とのつながりをつくっていく活動が活発化しているように、本はコミュニティづくりのきっかけともなる潜在力をもっています。また、子ども自身がボランティアとして読み聞かせをし、本の魅力を地域で伝える場面も見られます。このように行政・市民がそれぞれの多様な活動を、情報共有し支援しあうことによって、より豊かな読書活動の輪を作り、地域全体の子どもの読書環境を推進する頼もしいエネルギーを生むことができます。

引き続き、「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」および各区の「子ども読書活動推進連絡会」を開催し、地域の関係機関及び民間団体・グループの子どもの読書活動に関する課題解決に向けた情報共有を行うとともに、「第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画」の進行管理も行います。

区役所や子育て支援施設、ボランティアビューロー<sup>34</sup>等地域の関連機関、学校、市立図書館、ボランティア、企業・団体、個人などさまざまな場・人がゆるやかにつながり、すべての子どもたちがあらゆる場所で生き生きと読書を楽しむことができるよう、取組を進め、子どもの読書を支えるまちの団体や施設を包括するネットワークづくりを目指します。

<sup>34</sup> ボランティアビューロー:ボランティア活動をしてみたい人やボランティアを必要としている人の相談を受けたり、ボランティア登録している人や団体への情報提供を行う機関。大阪市では「ボランティア・市民活動センター」という。

# <具体的取組>

取組	取組内容	関係主体	
子どもの読書を支える施設・	・子どもの読書活動推進連絡会の実施	市立図書館・生涯	
団体のネットワークづくり		学習部・こども青	
		少年局・区役所等	

# 【各取組目標】

	目標	現状	令和7年度末
	学校図書館貸出冊数 (児童生徒 I 人当たり年間貸出冊数)	小29冊 (R元) 中3冊 (R元)	小38冊 中6冊
	「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画 的に行いましたか」に対して「月に数回程度以 上」と回答する学校の割合 【小学校学力経年調査】	69.7% (R2)	80.0%
観点I	市立図書館児童書の貸出冊数	2,716,230冊	300万冊
	市立図書館7-12歳(小)、13-15歳(中)の 登録者数	小 15,815名 中 4,386名	小16,800名 中4,800名
	子育て支援施設等への配本回数	426回	430回
	市立図書館と学校との連携事業回数	1,934回	2,100回
	市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	84,499冊	10万冊
観点2	市立図書館「こどものページ」「ティーンズの ページ」アクセス数	26,767件	28,000件
	読書活動支援ボランティア数	2,380名	2,500名
観点3	市立図書館と区役所等との連携事業回数	946回	1,200回
	子どもの読書活動推進連絡会 (全市、区)	年1回以上	年1回以上

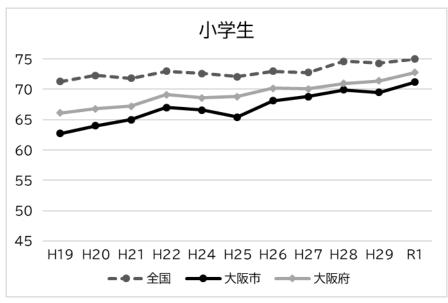
# 資料編

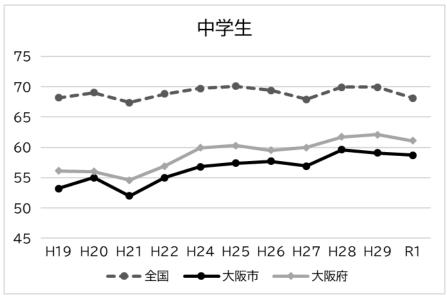
# 参考図表

• (図 I) 子育て支援施設の利用者数等

	H28	H29	H30	RI	R2
子育て支援施設利用者数(人)	870,436	822,414	850,408	722,407	380,907
子育て支援施設数(か所)	110	110	116	117	119
ブックスタート事業参加者数(人)	9,057	9,202	9,269	8,197	6,203
3 か月児健診該当者数(人)	22,566	21,835	21,565	20,200	21,312

・ (図 2)全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「読書は好きですか」に肯定的に回答した割合 平成 19 年度から令和元年度までの経年比較(%)





# 読書活動取組事例

学校園や地域、図書館で行っている子どもが読書への興味・関心が高められるような活動、取組事例 をご紹介します。地域、学校等、さまざまな場面で活動を行う際のヒントとしてご活用ください。

## | 学校園の取組

# 味原幼稚園(天王寺区)

#### □概要

- 週1回、幼児が選んだ園内の絵本を貸出し、絵本カードとともに持ち帰っている。家庭で絵本を楽しみ、保護者から一言感想を絵本カードに書いてもらう。週明けに返却する。
- 月 I 回、"おひざ絵本"の日を設けている。保護者と一緒に、おひざにのるなどして、触れ合いながら絵本を見る時間にしている。
- 3学期には、クラスで大好きな絵本を通していろいろと想像を広げ、表現活動へとつなげている。登場人物になりきって遊んだり、表現したことを見てもらうことを楽しんだりしている。

#### □経過・工夫していることなど

- ・ 絵本が好き、そしてことばや想像性豊かな幼児を育みたいこと、また、絵本を通して子育ての楽しさを味わえるようにと、保護者啓発の一端として始めた。
- 幼児自らが絵本を選びやすいように、本棚の環境整備を工夫している。
- "おひざ絵本"実施日を事前に保護者に知らせ、参加しやすくするように心がけている。

#### □□効果

- ・ "おひざ絵本"を通して、心地よい時間を保護者と共に過ご すことで、絵本を身近に感じられ、絵本が好きな幼児が増え ている。
- 絵本の好きな保護者も増えている。幼児の興味関心への理解にもつながり、子育ての喜びにつながっている。また、子どもの新たな面を知る楽しみが増え、家庭での共通の話題や会話も増えている。
- 幼児は様々な絵本との出会いができ、お話の世界にひたる 時間を通して、思いを巡らせたり、想像したりする楽しみにつ ながっている。





# 三軒家西小学校(大正区)

#### Ⅲ概要

#### (ア)「ビブリオパフォーマンス」の開催

通常のビブリオバトル(計画本文 p.20 参照)とは別に、独自の取組「ビブリオパフォーマンス」を行っている。自作のなぞなぞやクイズ、コント、マジックなど、勧めたい本の紹介方法は自由!我こそはと思う児童が、昼休みに校内の広場で発表している。

#### (イ)読書の記録づくり

児童ごとに、読んだ本の題名・日付などを「読書記録ノート」に記録している。高学年はページ数、低・中学年は冊数に応じて、全校朝会で校長先生から表彰される。年度末には、自分が読んだ本の年間ベスト3や、学校図書館に対する要望などを書く「読書ふりかえりシート」を作成している。

#### □対果

・ ビブリオパフォーマンスは、学年を超えてたくさんの児童が集まる人気イベントとなり、発表する側も見る側も楽しみながら読書へのきっかけになっている。読書記録ノートは、友だちが表彰されるのを見て自分もがんばろうと、励みになっている。



ビブリオパフォーマンス風景

#### <<中央図書館・学校図書館支援グループから>>

上記以外にも、図書委員会の児童が教室を回って読み聞かせ、ボランティアのおはなし会など、年間を通じてさまざまなイベントが行われています。各学級では担任の先生が読み聞かせをします。学校図書館以外にも本に触れられる場所があり、「いつでも、どこにでも"本"がある」学校となっています。

図書主任の先生が中心となり、教員、児童、学校図書館補助員、ボランティアの役割分担が明確化されており、それぞれの取組が計画的に、そして有機的に作用しあって進められています。これにより、学校図書館で I 冊も本を借りなかった児童がゼロになったことが大きな成果だそうです。読書への動機づけが学校図書館利用としっかり結びついている証しと言えるでしょう。

# 東住吉中学校(東住吉区)

#### Ⅲ概要

(ア)居心地のいい"カフェ"風に学校図書館を整備

居場所としても気持ちのいい学校図書館に、という校 長先生の発案で、フェイクグリーンの設置や BGM・映 像を流すなど、生徒が立ち寄りたくなる雰囲気づくり に徹底して取り組んだ。

#### (イ)生徒の読みたい本にこだわった学校図書館運営

リクエストにタイミングよく対応するため、こまめに選書・発注して本棚を充実させている。希望に応えられなかったときもその理由を必ず返答している。定期的に図書展示などのイベントも行っている。令和3年12月の展示は「聖なる昼に読書する」(命名は図書主任の先生)。クリスマスジャズが流れ、図書委員の生徒によるPOPや飾りつけで華やいだ雰囲気の中、5日間で300冊近い貸出があった。



「聖なる昼に読書する」展示



整備された環境と生徒でにぎわう風景

#### Ⅲ効果

・ 放課後であっても、学校図書館に立ち寄る生徒がたくさんおり、すでに150冊以上借りている 生徒もいる。令和3年度は前年に比べて貸出冊数が増加し、学校図書館の利用増・読書活動 の活性化につながっている。

#### <<中央図書館・学校図書館支援グループから>>

生徒にとって学校図書館が行きたい場所になる、そこに「読みたい本がある」ということは、考え方としてはシンプルですが実現には工夫が必要です。図書発注は学期ごとにまとめて行う学校が多い中、図書担当の先生や学校事務職員、学校図書館補助員が連携して購入頻度を上げているとのことです。図書委員の活躍もあいまって、多くの生徒に「自分たちの思いが反映されている場所」と映っていることでしょう。

いつも新しい本がある、いつも何かイベントをやっている、いつも人がいる、これらの取組により、常に学校図書館が「動いている」場所として学校に根付いています。生徒にとって、思い思いに過ごしてもいい場所が学校の中にあるということは素敵なことです。

# 2 地域の取組

# (1) ボランティア

# DAISY グループふじつぼ (マルチメディアデイジー製作)

#### □概要

- ・ 活字による読書が困難な方々にも読書を楽しんでもらうために、マルチメディアデイジー図書という、パソコンや iPad などで再生する電子図書の製作を中心として活動しているグループ。
- ・ 2008 年 12 月に大阪市立中央図書館で開催した製作講座の受講生を中心に結成。当時はまだマルチメディアデイジー図書はあまり知られておらず、中央図書館や地域のイベントで読書体験会を行うなどどんなものか知ってもらうことからだった。
- ・ 初めの頃は利用者に提供できるタイトル数も少なく、増やすためには製作者が足りなかった。製作には製作用のソフトを使い、ある程度のパソコンの知識が必要なため製作者の確保も難しい状況だった。今では教科書を中心に製作団体やタイトル数が増えたが、普及のための読書体験会、製作者育成のための製作講習会の開催は続けている。また、今後の製作・提供の促進のため、SARTRAS(サートラス:授業目的公衆送信補償金等管理協会)に登録した。
- ・ 活動の基本はマルチメディアデイジー図書の製作。絵本や児童書を中心に、大阪市立図書館 の蔵書や他の団体と連携して小学校の社会科の副読本や多言語の絵本を製作している。

#### □□効果

・ 読みに困難を抱える子どもたちが、自分で読めること、読んでわかることを実感してもらえるよう に取り組んでいる。



# キッズスマイルブック(小中学生による読み聞かせ活動)

#### □概要

- ・ 発足者が小学校の図書ボランティアを行っている際に、子ども達が読み聞かせに意欲を持っていることを知る。2015年に大阪市立豊崎本庄小学校の児童と市民ボランティアチームを立ち上げる。 現在では近隣の小中学校の生徒も加わり、大阪市立北図書館の講習を受けた小学3年生から中学3年生の18名が在籍。高校生となった一期生もサポーターとして活動してくれている。
- 読み手、聞き手共に幅広い子どもに読書の楽しさを 知ってもらうことを目的としている。また、読み聞かせ 活動を通じて、小中学生と他世代との楽しい交流の 場とする。
- 幼い子どもたちへの絵本の読み聞かせが主な活動となるため、「絵を読み」「ことばを感じ」深く読み込むことをモットーとしている。
- ・ 定期活動(月3回)と各公共施設のイベントに参加。他のボランティアグループのイベントにも ゲスト参加している。
- 活動概況は以下のとおり。
  - \*毎第|土曜日 練習
  - \*毎第2土曜日「読み聞かせ会」(北区子ども・子育てプラザ)
  - \*毎第3土曜日「読み聞かせ会」(大阪市立北図書館)
  - \*年間活動 夏休み・冬休みの「読み聞かせお楽しみ会」、読書ボランティアの祭典「おはなしたのしいでぇ!in 大阪」参加 (大阪市立中央図書館)、クレオフェスタ、絵本展 等(クレオ大阪子育て館)

#### □□効果

- 小中学生が読み手となることで、読み手と聞き手の年代が近くなり、親密感が生まれ楽しい読書空間となっている。
- 絵本を深く読み込むことで本を味わう力を養えている。
- ・ メンバーは活動を通じてスピーチ能力の向上、リーダーシップを発揮できる等、人間形成に確実 に役立っている。





## 平野区読書活動

#### Ⅲ概要

・ 平野区では、学校や図書館など、様々な機関が各々読書習慣の定着のために取り組んでいたが、平成 29 年4月に策定した「平野区こどもたちの「生きる力」育成プロジェクト+10(プラステン)」に基づき、プロジェクトの一つである「こどもの学習意欲(モチベーション)の向上」につながる「読書習慣の定着」を各機関が協働で図ることとした。

# (ア)ひらちゃん読書ノートの配付及び区長表彰《平野区内市立小中学校·平野図書館·平野区役所》 □ 概要

- ・ 「読書ノート」は小学校 I ~4年生用 5~6年生用、中学生用の3種類を作成し、学校を通じて、 希望する児童生徒へ配付しており、中学校版の作成には、令和2年度版以降、大阪平野ロータ リークラブにご協力をいただいている。
- 読んだ本のタイトルを記録し、小学5年生以上は一言の感想とページ数を記入する。
- ・ 小学校 I ~ 4年生は I 00冊以上、5~6年生、中学生は3,000ページ以上本を読んだ児童・生 徒を区長から表彰する。
- 同様に、別途「ひらちゃんえほんふれあいノート」も作成しており、就学前の幼児に保護者が読み聞かせを行った絵本のタイトルやその時の子どもの様子を記録する取組も実施しており、50 冊に到達すれば、記念品を差し上げている。

#### □対果

読書の促進と区長表彰による読書意欲や自尊心の向上が図れている。



ひらちゃんえほんふれあいノート



ひらちゃん読書ノート(1~4年生用)

#### (イ) ひらちゃん図書の自由貸出 《各種団体・平野区役所》

#### □概要

- 市民や団体から寄贈された書籍「ひらちゃん図書」を 平野区役所庁舎内各フロアに設置しており、返却期 限を設けていない自由貸出を行っている。
- ・ 貸出手続は不要で、読み終わったら元の場所に返却 していただくことにしている。



ひらちゃん図書の自由貸出

#### □□効果

・ 来庁者に読書の機会を提供し、読書活動の向上が 図れている。

## (ウ) えほん展《クラフトパーク・瓜破北幼稚園・平野図書館・平野区役所》

#### □概要

- クラフトパーク・瓜破北幼稚園を会場に、それぞれ年に1回、「えほん展」を開催しており、展示している絵本から好きなものを手に取って、読んだり、ながめたりできる場を提供しているほか、ボランティアグループによる読み聞かせやお楽しみ会を実施している。
- クラフトパークでの開催時には、親子で楽しめる人形劇の公演や司書による絵本の相談、保育 士による子育て相談も行っている。

#### □対果

絵本に触れる機会を提供し、親子での読み聞かせの習慣を醸成するほか、子育て中の相談に 応じる場を設けることができている。



クラフトパーク えほん展



瓜破北幼稚園 えほん展

## 西淀川区「えほん展『えほんとあそびのふわふわランド』」

#### □概要

- ・ 絵本に関するイベントや読み聞かせなどを通して、区内 在住の親子やボランティアなど参加者交流を図り、気 軽に絵本に親しむ機会を提供している。
- ・ 地域社会で孤立しがちな乳幼児・児童世帯に対する 子育て支援サービスや支援機関・施設、子育てサロン 等の情報を提供することを目的として、第 14 回えほん 展は 11 月 27(土曜日)、28 日(日曜日)の二日間に わたって開催した。新型コロナウィルス感染症拡大防 止のため、事前申し込み制による参加人数の制限と来 場者の入れ替え(一時間半の時間制限)、絵本の入 替、消毒、換気、検温、手指消毒を実施するなど、例年 とは違う形での開催となった。区長による絵本の読み



聞かせや、赤ちゃんコーナー、外国語の絵本のコーナー、絵本作家「もっさんみいこさん」のあそびコーナーや、絵本のキャラクターとの写真撮影ブース、に~よんミッケのコーナー、てんとてんコーナーやトーマス列車に乗ろうコーナーなど様々なコーナーを各子育て支援団体のボランティアにより開催された。

#### □効果

- 区内の子育で支援団体のボランティアのエネルギーにあふれるえほん展となり、えほん展を通じて、各子育で支援団体同士が、顔の見える関係を築くことができる。
- 第14回えほん展は制限のある中での開催だったが、参加者の親子が、絵本に親しみ、ゆったりとした時間を過ごした。



